



大湾東地区

読谷村 組合施行



令和3年2月撮影

施 行 者	…読谷村大湾東地区画整理組合
施 行 面 積 25.4ha
都 市 計 画 決 定 平成 21 年 7 月 21 日
事 業 計 画 平成 21 年 10 月 29 日
施 行 期 間 平成 21 年度～令和 6 年度
補 助 期 間 平成 21 年度～令和 5 年度
総 事 業 費 4,690,000 千円
社会資本整備総合交付金 2,245,000 千円
計 画 人 口 2,080 人
減 歩 率 合算 48.84%
公 共 用 地 率 従後 36.14%
建 物 移 転 数 0 戸

〈公共施設の整備〉

都 市 計 画 道 路 4 路線 幅員 9.5 m～18 m 延長 1,882 m
区 画 道 路 幅員 6 m～9.5 m 延長 3,236 m
特 殊 道 路 幅員 4 m～6 m 延長 608 m
公 園 3 箇所 8,453 m ²

〈他関連事業〉

道路事業(橋梁)、交差点改良事業、読谷村上水道事業
読谷村公共下水道整備事業等

※事業計画(第4回変更) 令和3年10月決定による
※交付金は国費額

本地区は、読谷村の南部に位置し、平成 11 年に米軍から返還された面積 25.4ha の地区です。

当該地区は、西側は国道 58 号、南側は村道牧原線に接する交通の利便性が高い地区です。国道 58 号を隔てて隣接する既成市街地は、軍用地接収による移転集落やその後の人口増加に伴う住宅建設によって形成された密集市街地です。

このような地理的条件に恵まれながらも本地区はこれまで米軍施設として利用されており社会資本整備を行うことが不可能であったことから、周辺地域の社会資本整備にも支障が生じ、本村の都市軸形成の大きな障害となっていました。

このため、平成 21 年度から本地区画整理事業に着手し、公共施設の整備改善と良好な宅地造成を一体的に実行し健全な市街地の形成を図る街づくりを進めているところです。



中部広域都市計画事業 諾谷村大湾東土地区画整理事業



土地区画整理事業設計図及び地区内現況写真